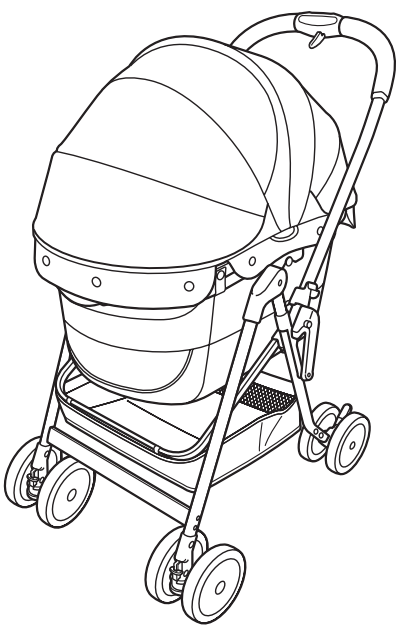


ペットカート miliclan 取扱説明書

品質保証書付



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

- この製品は、犬専用ペットカートです。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できる愛犬の条件：2匹以下、合計体重20kg以下
- ご使用中は、つねに愛犬および周囲の安全にご配慮いただき、公共のルールとマナーを守って、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

品質保証書
ペットカート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ。または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
- 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - プラスチック製品の自然劣化による変色
 - カバーなど、消耗品の傷や汚れ
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災による故障および損傷
- 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

- 本書でご提示がない場合。
- 一般家庭以外で、業務用などに使用された故障した場合。
- 有料修理の場合に要する送送運賃。
- 車輪の自然摩耗。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしません。

5. 修理中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

製品名 コムベッ ミリ克蘭	ロットNo. (後部後側のシールをご覧ください)	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お名前 お客様	〒	TEL
お住所 〒		TEL
販売店名 住所		

修理メモ

●お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名をたがひにご記入願います。

●領収書（レシート）を本書と一しょに保管してください。

●万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●品質保証書にご記入いただいた個人情報（住所、氏名、電話番号）は、保証書の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区新田271
受付時間：10:00～17:00（日祝日、年末年始を除く）
■総合受付（各種ご相談）窓口 商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 部品販売 / 各種ご相談 / その他
TEL：(048) 797-1004 FAX：(048) 799-6109

153686050 14.2

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、愛犬およびご使用者のかが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、愛犬およびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、愛犬または人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取り扱いをすると、愛犬または人が傷害を負ったり物的損害の可能性がります。
	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
	補足説明

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
	補足説明

警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

- 愛犬の健康を損なうおそれがあります。**

 - 愛犬に異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。
 - 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
 - 車の中や暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所に愛犬を入れたまま放置しないでください。
- 愛犬が落ちたりペットカートが折りたたまれたおそれがあります。**

 - 開閉ロックが確実にかかっていること（ペットカートが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。
 - 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかみなどの悪路では使用しないでください。
 - 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。
 - 当社コンシューマープラザにて連絡ください。
 - 愛犬を乗せたまま、ペットカートを持ち上げないでください。
- ペットカートが転倒して、愛犬が落ちるおそれがあります。**

 - 愛犬を乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにすると不安定になり、ペットカートが転倒するおそれがあります。
 - 愛犬のリードを、ハンドルなどにつながないでください。ペットカートが転倒するおそれがあります。
 - ペットカートに同時に3匹以上の愛犬を乗せたり、愛犬をキャリー以外のところに乗せないでください。
 - 使用中にハンドルに寄りかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
- 愛犬が落ちるおそれがあります。**

 - 専用リードを必ず使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。
 - 愛犬は思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。**

 - ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
 - 愛犬を乗せたまま、ペットカートから離れないでください。
 - ペットカートは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。
- 愛犬がケガをするおそれがあります。**

 - 車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。
 - 指や手などをはさんだりするおそれがあります。
 - 腕の関節操作をするときは、愛犬に注意し操作を行ってください。体をはさんだりするおそれがあります。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ペットカートが破損するおそれがあります。

- 愛犬を乗せる以外の目的で使わないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- 専用リードの長さ、必ず調節してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ペットカートに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ペットカートを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。車体の破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ペットカートにけり込んでく使用者も転倒するおそれがあります。

- 風の強いときは使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雨のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- 車体やキャリーの上に荷物を重ねたり、圧力加わるとな状態を保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体が動き出し転倒するおそれがあります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。
- ゆるみがある場合は必ず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、愛犬の負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認の上で、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやカバーおよびベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまます使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後部後側に貼っているシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですと思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理・部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

車体の開きかた

キャリーを取りはずした場合

1. 手元ロックスライダースライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。
2. 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。
3. 完全に開いたことを確認し、折りたたみレバーを離す。自動的に手元ロックスライダースライドがロック位置に戻り、折りたたみがロックされます。

- 警告**

 - 車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。指や手などをはさんだりするおそれがあります。
 - 使用前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。
- ロックされている

●ロックされていない

開閉ロックが下がってすき間がない。

開閉ロックが上がってすき間がある。

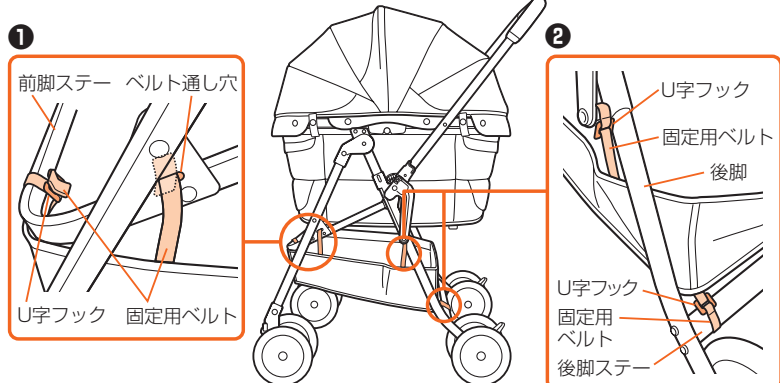
●手元ロックスライダースライドを必ずロックの状態でご使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。
- 注意**

車体を持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。

買い物カゴの取り付けかた

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
 - 角のこったものや、買い物カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下や買い物カゴの変形およびやぶれの原因となります。
 - 車体を折りたたむときは、荷物を取り出してください。車体の破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 荷物について**
- できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにしてください。

1. カゴ前部の固定用ベルトを、前脚ステーにベルトを巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付け、カゴ前部左右の固定用ベルトを、ベルト通し穴に通し、取り付け。
 2. カゴ後部と左右の固定用ベルトを、それぞれ後脚と後脚ステーにベルトを巻きつけ、U字フックにはさみ込んで取り付け。
- 取り付け後、しっかりと固定されているか、引っぱって確認する。



ストッパーの使いかた

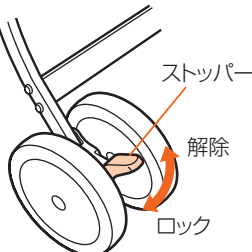
ペットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状態や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

- 警告**

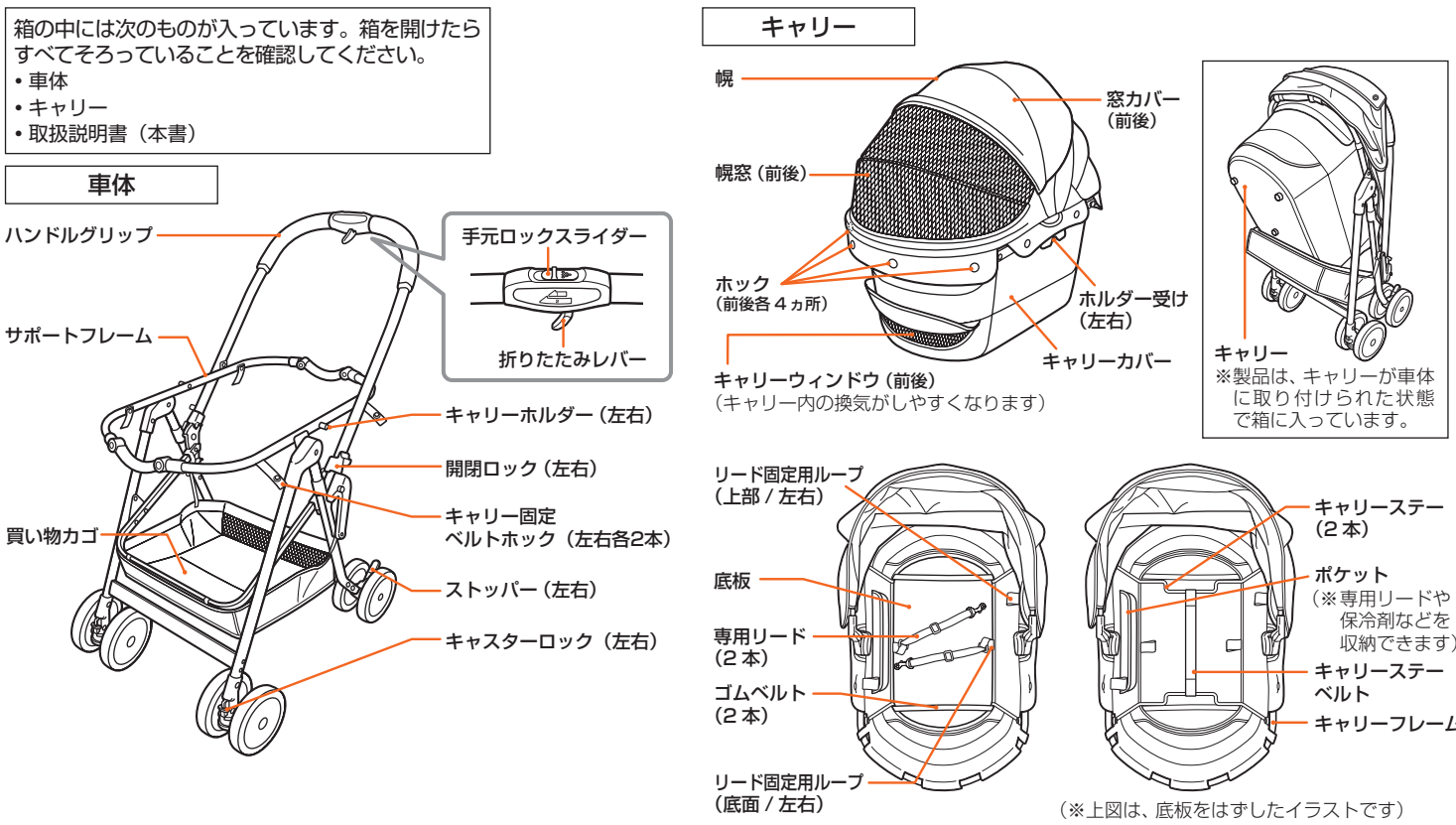
 - ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
 - 愛犬を乗せたままペットカートから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけてください。ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 注意**

空車であっても、ペットカートから離れるときは、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
 2. ペットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。
- ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



各部のなまえ



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

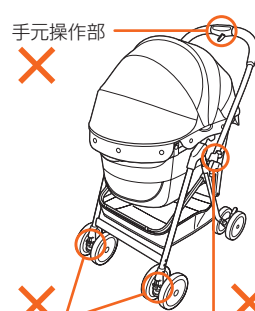
- キャリーカバー、買い物カゴの洗濯
- 洗濯機は使用しないでください。
- きつても洗いはいないでください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きをよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 幌、底板、専用リード、キャリーステーパーベルトの洗濯
- 幌や買い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
- 洗剤をついたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品は若干色あせすることがあります。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれがありますので使用しないでください。
- 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。

車体の清掃について

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤が残らないようにします。

注油について

- きしみが発生したり、作動が鈍くなったり注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



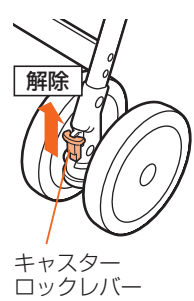
廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

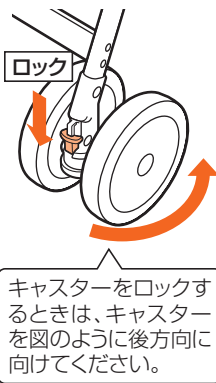
キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。

キャスターロックレバーを上げて、ロックを解除する。



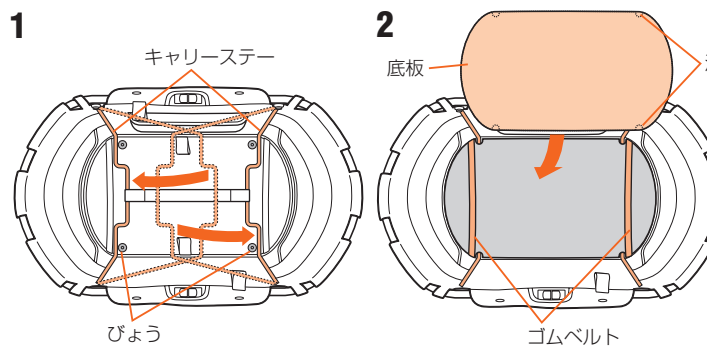
坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターロックレバーを下げてロックする。



キャリーの開きかた・たたみかた

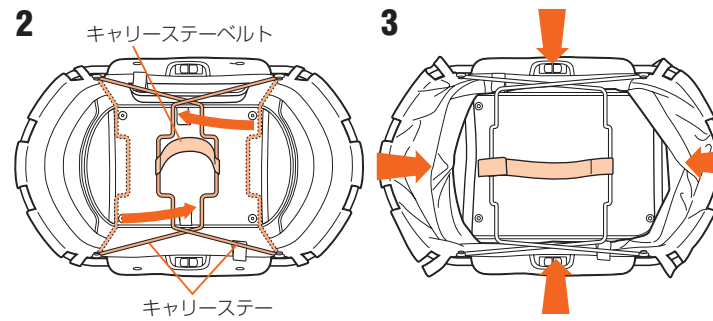
開きかた

1. キャリーステ（2本）を広げる。
底面にある4カ所のびょうを乗り越え、キャリーステベルトを完全に伸ばしてください。
2. ゴムベルトに底板をくぐらせ、底板の溝とキャリースターの位置をあわせて、底板を入れる。
底板は、クッションが入っている面を上にしてください。



たたみかた

1. 底板をはすず。
2. キャリーステベルトを引き上げながら、キャリーステ（2本）をたたむ。
3. キャリーをたたむ。



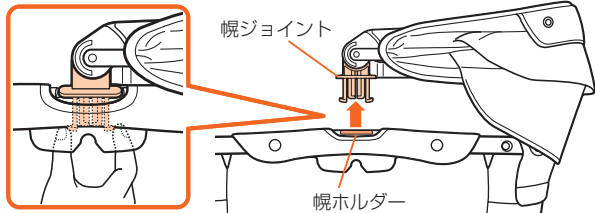
- キャリーステを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
- 底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 専用リードは必ず底板の上に出してください。
- 使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

△注意

幌のはずしかた・使いかた・取り付けかた

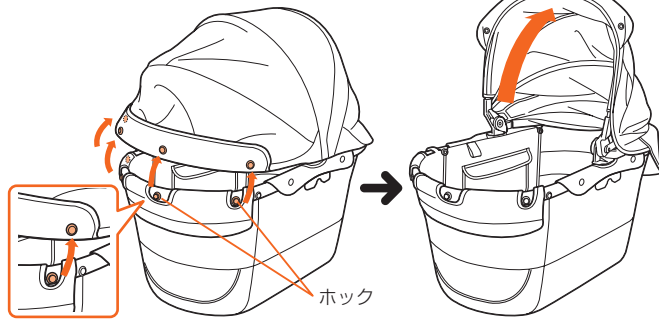
はずしかた

1. 幌前後のフック（各4カ所）をはすず。（右記の「使いかた」参照）
2. 幌ジョイント下端のツメをつまみながら、幌ジョイントを幌ホルダーから上に引き抜く。



使いかた

開くとき：幌の前または後のフック（各4カ所）をはすし、幌を開く。
閉じるとき：幌を閉じて、幌前後のフック（各4カ所）をとめる。



取り付けかた

幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。

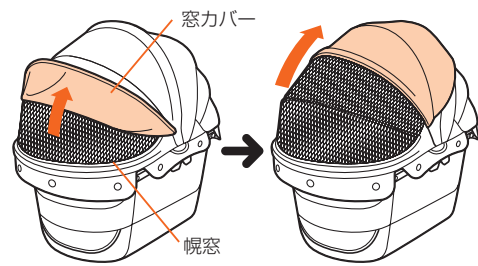
△注意 幌の取り付け操作は、そばに人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。指や手などをはさんだりするおそれがあります。

△警告

幌の向きは、キャリーに対して前後どちらでも取り付けることができます。

幌窓の使いかた

幌前後の窓カバーをめくり上げ、幌窓を開ける。

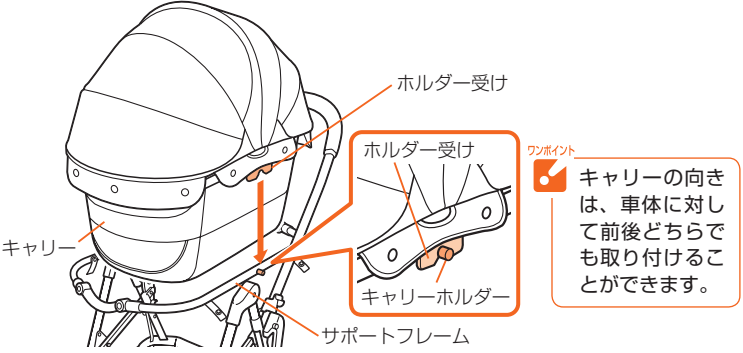


△注意 キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず幌を閉じてください。また、フック（8カ所）が確実にとめてあることを確認してください。愛犬が落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

△警告 幌窓やキャリーウィンドウを開けることで、キャリー内の換気がしやすくなります。

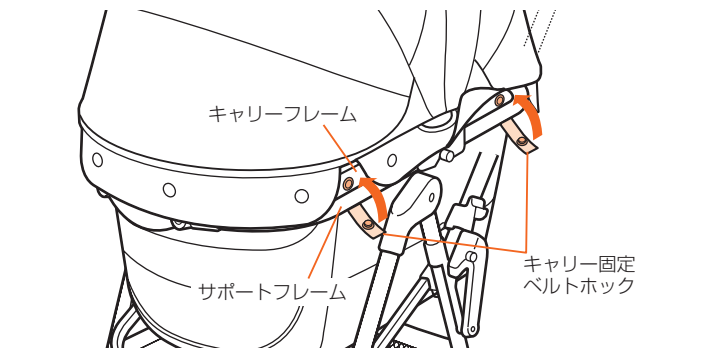
キャリーの車体への取り付けかた

1. キャリーをサポートフレームのキャリーホルダーにあわせ、キャリーフレームの前後を持っておろす。
2. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームにとめる。



△警告 キャリーを取り付けるときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

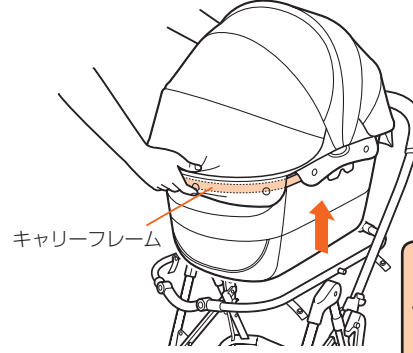
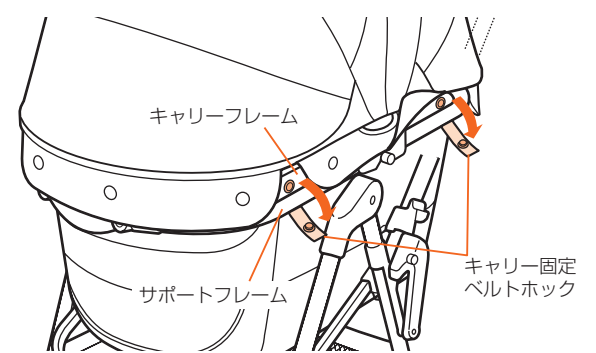
△注意 キャリーとサポートフレームのすき間に指や手などをはさまないように注意してください。



△警告 ペットカートとして使用するときは、必ずキャリー固定ベルトフックをとめてください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーの取りはずしかた

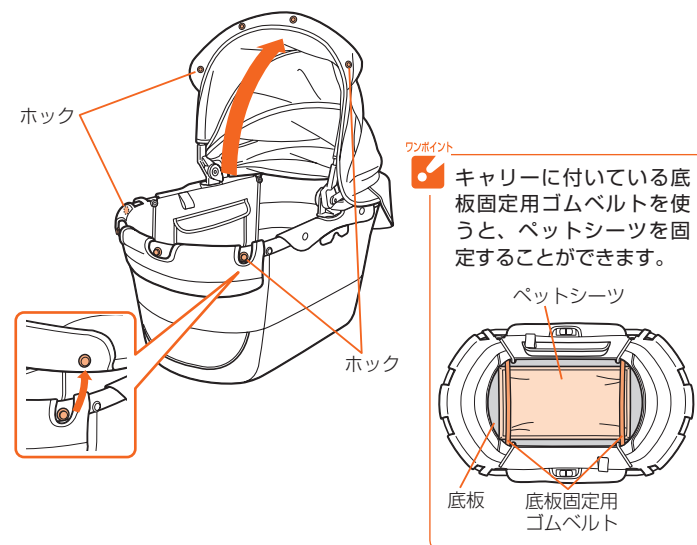
1. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック（左右各2カ所）をキャリーフレームからはすず。
2. キャリーフレームの前後を持ってキャリーを持ち上げ、取りはずす。



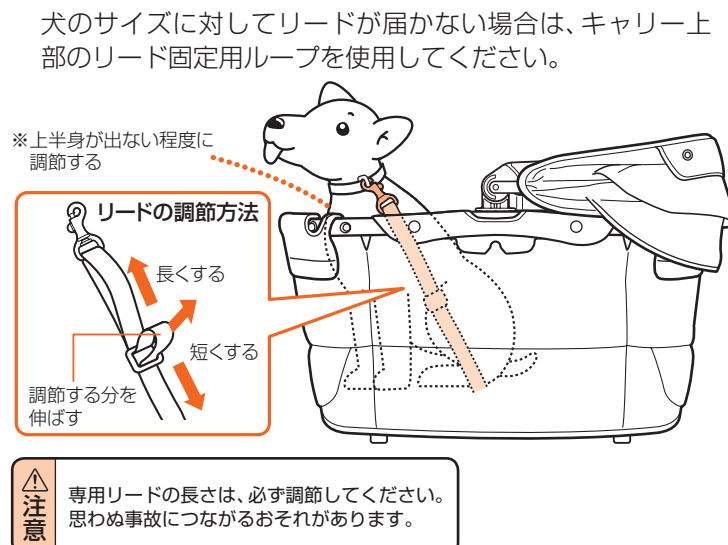
△警告 キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

愛犬の乗せかた・おろしかた

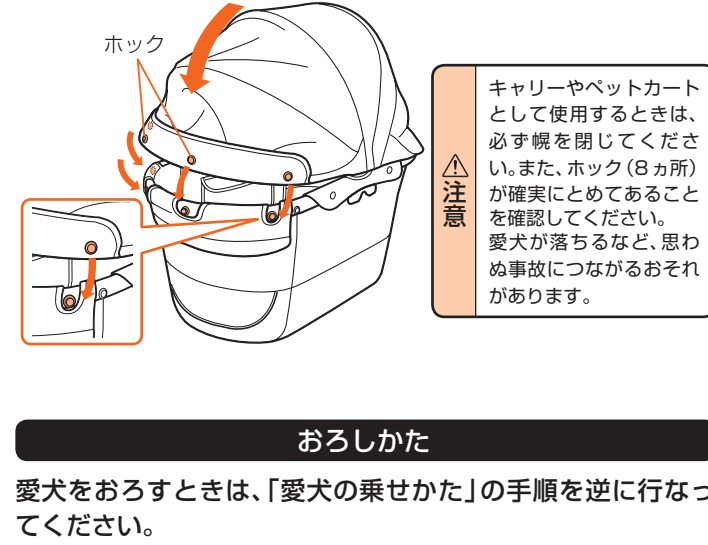
1. 幌の前または後のフック（各4カ所）をはすし、幌を開く。
2. 愛犬を乗せて、専用リードにつなぐ。
3. 愛犬の上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。
犬のサイズに対してリードが届かない場合は、キャリー上部のリード固定用ループを使用してください。
4. 幌を閉じて、幌前後のフック（各4カ所）をとめる。



△警告 ●キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。愛犬が落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●愛犬の乗せおろしの際は、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。



△注意 専用リードの長さは、必ず調節してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



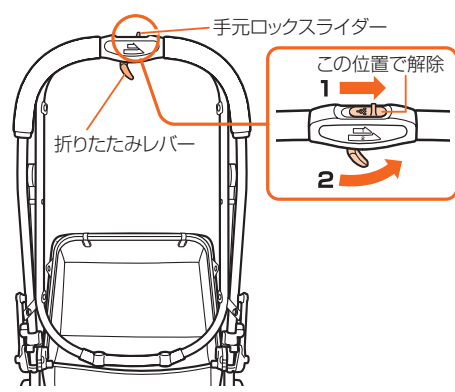
△注意 キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず幌を閉じてください。また、フック（8カ所）が確実にとめてあることを確認してください。愛犬が落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車体の折りたたみかた

●車体はキャリーを取り付けた状態、取りはずした状態でも折りたたむことができます。

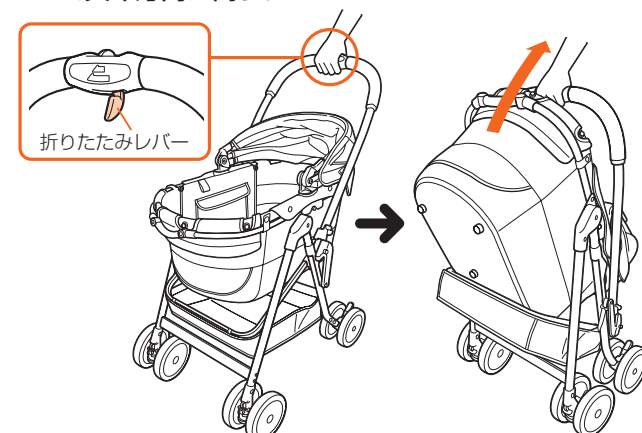
キャリーを取りはずした場合

1. 手元ロックスライダーをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。
2. 折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。
3. 完全に折りたたんだことを確認し、折りたたみレバーを離す。
自動的に手元ロックスライダーのロックがかかります。



キャリーを取り付けている場合

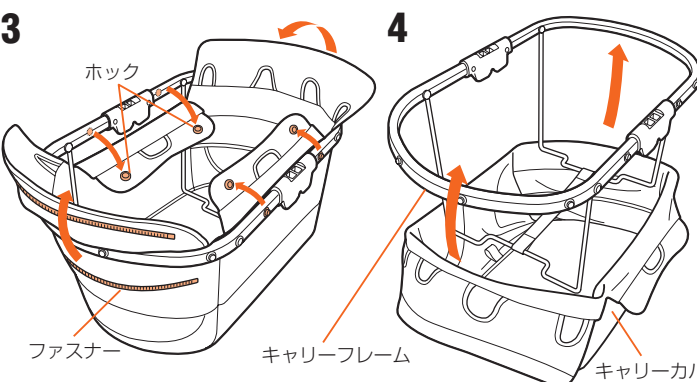
1. 幌を前後どちらかに折りたたむ。
2. 手元ロックスライダーをスライドしながら折りたたみレバーを握り、折りたたみのロックを解除する。
左記「キャリーを取りはずした場合」の手順1を参照してください。
3. 折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。
4. 完全に折りたたんだことを確認し、折りたたみレバーを離す。
自動的に手元ロックスライダーのロックがかかります。



部品の取りはずしかた・取り付けかた

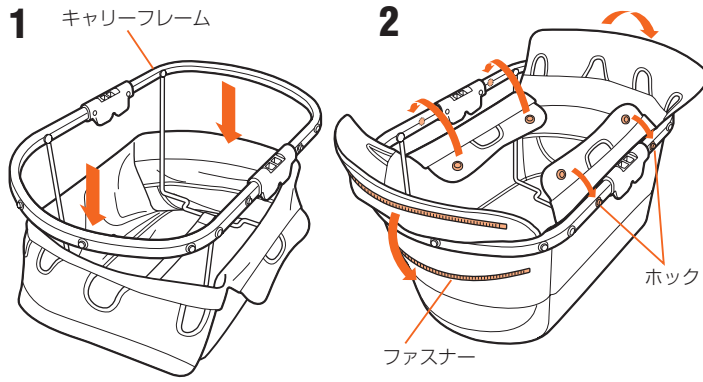
キャリーカバーの取りはずしかた

1. 幌をはすず。（「幌のはずしかた」参照）
2. 底板をはすず。
3. ファスナー（2カ所）をはすし、フック（4カ所）をはすず。
4. キャリーフレームからキャリーカバーを取りはずす。



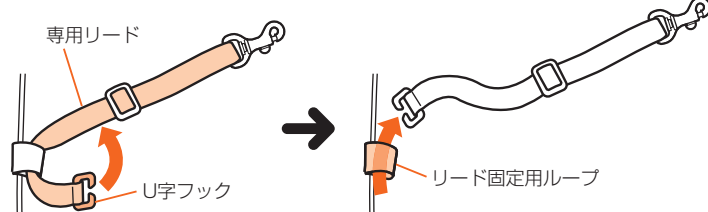
キャリーカバーの取り付けかた

1. キャリーステを広げてキャリーフレームをキャリーカバーに入れる。
2. キャリーカバーのフック（4カ所）をとめ、ファスナー（2カ所）をとめる。



専用リードの取りはずしかた

U字フックをはすし、専用リードをキャリー底面または上部のリード固定用ループから引き抜く。



専用リードの取り付けかた

キャリー底面または上部のリード固定用ループに専用リードを通し、U字フックを取り付けて固定する。

